

建築学専攻

2025年4月期入学志願者用（第2次試験）

I. 志望区分

系	主要研究内容	指導教員
構造系	建築構造力学 構造解析学 構造安定論 建築設計力学 大スパン構造 シェル構造 建築構造最適化	大崎 純 張 景耀
	鉄筋コンクリート構造学 複合構造学 耐震構造学 耐火設計 プレストレスト・コンクリート構造学 構造材料学	谷 昌典
	鉄骨構造学 合成構造学 高性能材料工学 空間構造計画学 溶接・接合工学 建築施工システム	聲高 裕治 稲益 博行
	建築・都市保全再生 地震工学 災害リスクマネジメント 構造デザイン論 伝統木造	杉野 未奈
	構造最適設計・逆問題 システム同定 建築動力学 制振構造 耐震設計法 建築地盤工学	荒木 慶一 藤田 皓平
	環境負荷低減 省資源 省エネルギーに貢献できる建築材料の開発 材料の力学性能 劣化機構 耐久性能	*
	地震環境工学 地盤震動論 地震ハザード解析 地震荷重論 地盤-建物系非線形応答解析	松島 信一 長嶋 史明
	耐風構造学 建築風工学 大気災害工学 工学的意思決定論	西嶋 一欽
	鋼構造耐震学 構造振動制御論 極限解析学 建築防災工学 構造ヘルスマモニタリング	池田 芳樹 倉田 真宏
	構造動力学 地震防災工学 地震被害推定と予測	境 有紀
計画系	建築計画・設計 環境行動・心理 医療福祉建築 建築情報学	三浦 研
	日本建築史 日本都市史	富島 義幸 岩本 馨
	国際建築批評学 現代建築史 現代建築論 建築設計	トーマス ダニエル
	建築意匠 空間設計 環境造形論	平田 晃久

計 画 系	建築生産 建築プロジェクト・マネジメント 生産設計 建築経済 建築社会システム 生産管理	金多 隆 西野 佐弥香
	生活空間設計学 建築論	田路 貴浩 小見山陽介
	居住空間学 都市・地域計画 環境再生・共生 環境・景観設計 住居・住環境計画 居住空間の再編・再生	神吉紀世子 柳沢 究
	災害と都市・建築 防災・復興計画論 災害建築・都市のデザイン 危機管理論	牧 紀男
環 境 系	温熱環境制御 建築と設備の省エネルギー 文化財保存	小椋 大輔 伊庭千恵美
	人間生活環境学 建築光環境 建築照明・色彩 視覚工学	石田 泰一郎
	都市と建築空間の温熱環境 建築火災安全工学 木造の火災安全 火災時の煙制御と避難安全	原田 和典 仁井 大策
	音環境 騒音・振動制御 建築音響 環境心理 音とコミュニケーション	大谷 真
	都市防火 自然災害起因の大規模火災 地震火災 津波火災 都市 複合災害リスク評価 広域避難計画 災害レジリエンス解析	西野 智研

*印は、指導教員が未定であることを示す。*印の分野についての研究内容及び指導教員等に関する質問がある場合、専攻長に問い合わせること。

II. 募集人員

建築学専攻 18名

III. 出願資格

募集要項4 ページ「II-i 出願資格」参照

IV. 入学試験日程

入学試験は口頭試問によって行う。

日 時：2月12日（水）午前9時から開始する。午前8時50分までに桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに集合すること。

場 所：京都大学桂キャンパスC2棟

試験室、時刻等の詳細については、桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに掲示し、集合の際にも指示する。試験室には必ず受験票を持参すること。

ただし、国費またはそれと同等の奨学金により入学を希望する留学生等で、自国からオンラインでの受験を希望する者は、出願前に専攻長に相談すること。

V. 入学試験詳細

(1) 試験内容

- (a) 修士課程修了者は修士論文あるいはその後の研究実績について、修了見込者は修士論文あるいは試験日までの研究経過について、その他の研究経歴を有する志願者はその研究実績について説明する（10分以内）。
- (b) 博士後期課程における研究計画を、3分以内で説明する。
- (c) 上記(a)項およびそれに関連する分野の学識、(b)項の博士後期課程における研究計画について口頭試問を行う。

(2) 出願要領

工学研究科に提出する出願書類の他に、以下の書類を提出すること。出願書類とは提出先が異なるので注意すること。

(a) 提出書類

- (a-1) 修士論文、または修士論文原稿（試験実施日までの成果）1部
- (a-2) 修士論文概要、または修士課程の研究経過概要、あるいはその他の研究実績概要（A4判用紙2ページ以内。日本語または英語で書くこと。）20部

(b) 提出先・期限

提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C クラスター事務区教務掛（建築系）

提出期限：2025年1月17日（金）午後5時必着

郵送の際も上記期限に必着すること。また、書留とすること。

(c) 事前コンタクト

入学後の研究内容のマッチングを行うため、出願に先立って志望する指導教員に連絡し、研究内容について相談すること。教員の連絡先は建築学専攻のホームページで確認すること。

<https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

(d) 口頭試問の発表指導

志望する指導教員が口頭試問の発表指導を行う場合がある。口頭試問の発表指導は、原則として出願後から試験日の1週間前までに行う。

(3) 入学試験当日に持参すべきもの

入学試験当日には、Vの(1)項の説明のために、Vの(2)(a)の(a-2)項の梗概の写し、および必要に応じてVの(1)の(b)項のための資料、その他図表などの資料を持参すること。なお、説明においてはPCプロジェクタを使用できるが、PCは各自持参すること。また、トラブルに備えてスライドの内容を印刷したものを1部用意すること。

(4) 入学試験結果の通知

募集要項 Part A の「V 合格者発表」参照。

VI. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「建築学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。詳細については、募集要項 Part A の『XIV. 表 博士後期課程入学後の教育プログラムと志望専攻』を参照すること。また、教育プログラムの内容については、Part A の『X 博士後期課程入学後の教育プログラムについて』を参照すること。

○ 前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

・ 建築学専攻

○ 前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

・ デザイン学分野

入学後に履修を志望する教育プログラムについては、合格決定後の適切な時期に志望を調査する。合格決定後の指示に従うこと。

VII. その他

訂正や追加指示などが工学研究科または建築学専攻のホームページに掲載される場合があるので、適宜チェックすること。

<工学研究科ホームページ内の入学試験のページ>

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>

<建築学専攻ホームページ内の入学試験のページ>

<https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam>

問合せ先・連絡先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（建築系）

電話：075-383-2967

E-mail：kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp

参照 <http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/>